



Network Adapter for Native

Merging AES67 RAVENNA ASIO Driver (MAD) は、オンボードのものも含め、あらゆるギガビットイーサネットアダプターで動作しますが、AoIP 専用 NIC カードをご用意ください。

最適なパフォーマンスを得るには「Intel ギガビットネットワークアダプター」のご使用を推奨します。

Windows コントロールパネル > デバイスマネージャー で、ネットワークアダプターを探し、カードを選択して右クリック > プロパティ を開いてください。

- *Green Ethernet*
- *Energy Efficient Ethernet*
- *Ultra Low Power mode* (超低電力モード)
- *System Idle Power Saver* (システムアイドル時の省電)

などの「電源管理機能」関係の設定を 無効 にしてください。

これらのオプションは通常「電源管理」タブにあります。NIC のメーカーやモデルによって場所が異なります。

- *Reduce link Speed during standby* (スタンバイ時にリンク速度を下げる) を 無効 に設定してください (特に RAVENNA ネットワークでスイッチを使用している場合)。
- *Reduce Speed on Power Down* (電源切断時に速度を下げる) も 無効 に設定してください。
- *Wake on LAN* も 無効 に設定してください (必須ではありません)。

追加の注意事項

- *Jumbo packet* (ジャンボ パケット) はサポートされていません。
- *Interrupt Moderation* (割り込み節度) は、無効 にすると (デフォルトでは有効) シンク ジッターの削減に役立つことがあります。
- *Receive Side Scaling* (受信側スケーリング) は、デフォルト値で 有効 にする必要があります。
- *Receive Side Scaling Queues* (受信側スケーリングキュー) は、キューが 2 つあるとパフォーマンスが非常に低下する可能性があるため、1 (デフォルト値) に設定する必要があります。
- パフォーマンス オプション は通常、デフォルト値 のままにしておいてください。これは以下の設定を行うことと同義です。
 - *Adaptive Inter-Frame Spacing* (アダプティブ インターフレームスペーシング) を 無効 に設定
 - *Flow Control* (フロー制御) を **RX** と **TX** に設定
 - *Interrupt Moderation rate* (割り込み節度レート) を **Adaptive** に設定
 - *Receive Buffers* (受信バッファー) を **256** に設定
 - *Transmit Buffers* (送信バッファー) を **512** に設定



Realtek 2.5 GbE コントローラー では、受信バッファのデフォルト値が 512 に設定されていることがあります。これは 256 に設定してください(送信バッファは 512 のままにしてください)。

Windows 10 から Windows 11 にアップグレードすると、重要な「RSS Queues」など、特定の設定にアクセスできなくなる場合があります。

そのような場合は、「デバイスマネージャー」を開き、ネットワークアダプターを右クリックして「ドライバー」に移動し、「ドライバーのダウングレード」を選択してください。これにより、非表示の設定にアクセスできるようになります。

実際に dsp-AVC で使用しているNIC

1 Port

- Intel 82574L (1bit)
- Intel i210 (1bit)

2 Port

- Intel EXP i9402PT (4bit)
- Intel EXP i9301CT (1bit) 82574L chip